

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	文化財保護推進事業			会計	款	項	目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内の文化財	意図	市内の文化財の保護と活用。
事業内容	文化財審議会の開催。指定文化財等への補助金の交付。指定・登録候補文化財の調査、市内の埋蔵文化財試掘。遺跡見学会の開催等。			
事業開始から現在までの状況変化	平成20年度の機構改革により、生涯学習課文化財保護係に代わり博物館学芸係が担当している。市指定無形民俗文化財の継承のため補助金の交付をしてきた。指定文化財の経年変化や損壊に対応するため、平成22年度から指定文化財の修理補助金の交付を開始した。また平成24年度には、国・県指定文化財及び国登録文化財への補助事業を開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	新たに指定登録された文化財数	4	0	3	件	→→
②	埋蔵文化財照会処理件数	1,266	1,620	1,603	件	→→	
③	指定・登録候補文化財の調査件数	2	2	4	点	→→	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

国登録・市指定有形文化財（建造物）が集中する流山旧市街の活性化

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

- ・TX沿線整備事業の進捗に伴い埋蔵文化財の照会処理件数は多い。
- ・指定に向けた松ヶ丘街路灯・閻魔堂・秋藤土蔵の調査を実施した。

事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	13,280,019	14,042,265	13,650,696
事業費(b)(円)	2,915,019	2,747,265	4,420,696
うち一般財源	2,915,019	2,747,265	4,337,696
職員給与費(c)(円)	10,365,000	11,295,000	9,230,000
人役・職員(人)	1.50	1.50	1.00
人役・再任用(人)			1.00
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	市域全体を視野に入れ、偏りのない文化財の指定と保存・保護すべき文化財の適正な選定。	③取組の課題	市内に残る文化財調査を進める。
②今年度(H28)に実施した取組	指定に向け有形文化財や記念物の調査を行った。 新たに3件の文化財を指定した。	④今後の改善計画	登録・指定候補文化財の調査を適切に計画的に行い、文化財審議会に諮る。